

赤羽台中学校跡地を東洋大が新キャンパスに買収



区は旧赤羽台中跡地（1・32ha）を東洋大学に41億円で売却すると提案しました。来年4月から系列の京北中学新築のため3年間仮校舎に活用した後、建替えて2017年から総合情報学部・大学院を移転する計画です。

区は①地域防災の向上、②地域産業活性化、③教育政策その他の地域交流・貢献での大学との協定を展望しています。

かつて90年にそねはじめ区議（当時）が、赤羽西口開発の大型店進出に対し団地や西口商店街に市場調査等の支援を提案し、「近隣型商店街活力調査」事業が東洋大研究室との連携で

実現した歴史があります。（右の図は91年1月発行の曾根区議レポートから抜粋）

今度も地域産業との連携が、地元の中企業支援につながるよう、求めています。

地元要望や少人数学級と整合させ活用を

小中学校や都立校跡地への教育施設進出は、桜田中跡への日大豊山中学の仮移転、都立池袋商業跡へのフランス外国人学校の移転など相次いでいます。

学校跡の活用は住民の方々の要望尊重が大前提です。また国が運動に押され、小中学校学級定数を35人、30人に改善を決めた今、少子化対策で子どもが増えた時に学校・教室不足が起きない見通しも必要です。

その上で、大学はじめ教育施設の進出を、高齢化した地域での若い世代との交流や区内への定着などに結びつけていく学術・文化・産業政策が期待されます。

◆◆◆急な涼しさで体調はいかがですか◆◆◆

そねはじめ切り絵シリーズ③

「タカネニガナ」

九州から北海道まで広く高山の岩や礫などの日当たりのよい場所に咲く、小型のキク科植物です。細い茎に9～10片の黄色い花をつけますが、茎や葉は苦い乳状の汁が出るので、“高嶺の苦い菜花”という意味でこの名があるようです。

赤旗まつりで会いましょう

11月6・7日江東区夢の島公園での赤旗まつりでお待ちしています。参加券はそね事務所にもあります。



すぐに生かされた 曾根議員の提案

90年6月議会での曾根議員の提案の主旨がさっそく生かされ、「近隣型商店街活力調査」の事業が9月補正予算に150万円ほど組み込まれました。これは大型店の進出に対抗して地域の商店街がどのように活性化すべきかを探るため、区の委託で市場調査等を行うものです。

今回はスーパーサミットや王子五丁目団地アプアプの出店が予定されている周辺地区として東十条商店街が対象ですが、区はこれをモデルに今後区内各地域でも実施する計画です。

補正
予算
近隣型商店街活力調査事業